

## 令和7年度 林業体験活動(第2回)報告

報告書作成：清水美里

日時：令和7年8月27日(水)9:15-13:00

場所：高島市朽木生杉 「タネカラプロジェクト」植樹地

内容：

9:15-9:30 圃場見学

9:30-10:30 植樹地の草刈り

10:30-11:15 植栽木の樹高、樹勢調査

11:30-12:15 昼食（源流の駅「山帰来」カフェにて）

12:15-13:00 意見交換会

参加者：森林インストラクター会（前田、上萩、佐々木、高橋、中川、安田）敬称略  
タネカラプロジェクト（清水、平野正人、平野正子）

\*タネカラプロジェクトの立場から清水が報告させていただきます。ご了承ください。

所感：

午後から雨予報が出ているせいか、雲量が多く、少し涼しい風もあり、作業日としては暑さも随分やわらいでよかった。朽木生杉はアクセスが悪く、全ての方々にとって“遠方”だが、朝早い時間にお集まりいただき、感謝しかない。

タネカラプロジェクトは立ち上げから4年足らず、昨年に山への植栽がようやく実現したところで、苗木作りも植樹のスキルもまだ手探り段階であり、森林インストラクター会の皆さんの専門的な知見をもとに助言、ご意見いただける機会をありがたく感じている。皆で汗を流し、冷たい飲み物で喉を潤し、山からの風に癒され、会話が生まれる。そんな共同作業の醍醐味も味わえて、草むらから顔を出した苗木が清々しく映った。

///苗場の見学///



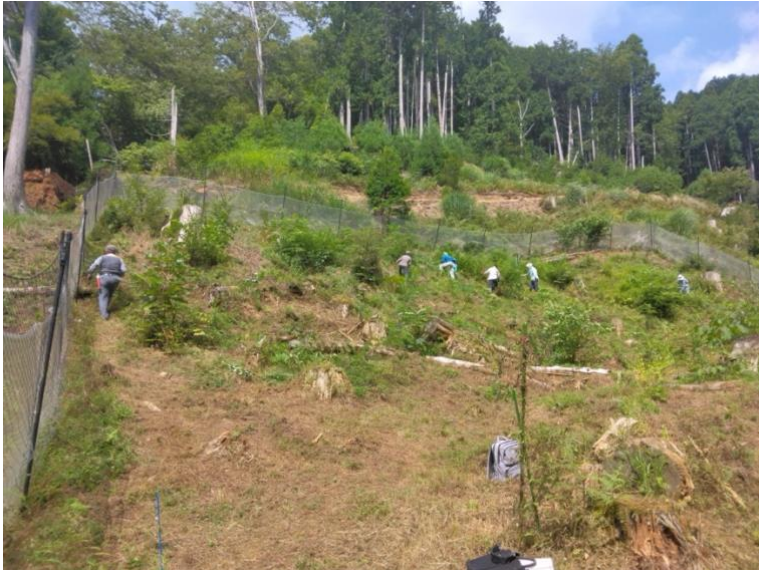
///植樹地「たねの森」の草刈り///

事前に刈り払っていたが、機械で刈れない繊細な部分（柵の内外の際や植栽木付近）を手刈りした。

スギ・ヒノキ植林地のようにまっすぐ等間隔では植えられていないため、どこに苗木があるのか確認して慎重に作業する必要があった。1箇所にも3本まとめて植えてあったり、自然生えの木本を残したりしているのですからさらに複雑だったが、誤伐やネット破損なしで終わることができた。皆さんの丁寧で確実な手つきが、ありがたかった。

また、外来の草本は刈り取り、残したい草本は選択的に残すなど細かい配慮もありがたかった。

当初は平地の作業だけを想定していたが、自ら斜面地の方にも上がってくださり、足元が不安定ななか、作業いただいた。



### ///植栽木の調査///

39本（箇所）の植栽木について、苗高計測と樹勢調査をし、記録した。

昨年5月の植栽時、57cmだったヌルデの苗木は、296cmにまで伸びていた。また、ネムノキも成長量が多く、8月植栽時に50cmだった苗木が260cmとなり、一年で210cmも伸びたことに驚いた。他、先駆種は旺盛な成長を見せた。

トチノキを多く植えているが、伸びが5cm~60cmと差があった。

昨年秋に一度、ネットに穴を開けられ獣害を受けているが、どの苗木も枯れることなく、葉を展開している。ただ、樹形が乱れる、成長量が鈍るなど影響はあるようだ。

獣害や雪折れによりウワミズザクラの株元からひこばえが出ていたのを、剪定した。私は剪定の知識がないため、どの枝を残しどの枝を切る、といったことを教えていただきながら切ることができ、大変良い経験になった。

今日来ていただいたメンバーのうち何名かは、昨年5月の植栽作業にも来てくださっていて、植えた当初のおぼこい苗木の姿と、1年数ヶ月を経過して成長した姿の変化を実感いただけたと思う。これからも、成林の過程を経過観察していく楽しみを、多くの人と共有していきたい。





///意見交換会///

タネクラブプロジェクトスタッフの平野さんからスイカやトマトの差し入れをいただいた。企業の森づくりとの連携の可能性、クヌギ苗について、育苗ポットの形状についてなど、いろいろご意見をいただき、考えることができた。